

未来社会工学開発研究センター

平成 29 年 4 月 1 日発足

Society5.0 を実現するモビリティ・インフラの先端研究拠点

未来社会工学開発研究センター（通称、F-MIRAI）は、筑波大学とトヨタ自動車（株）によって、「Society 5.0 を実現するモビリティインフラの先端研究拠点」として設立されました。サイバニクス研究センター長、内閣府のFIRST、ImPACT プログラムの責任者としての経験を活かし、当該センターの長として責務を果たします。社会工学等を中核とした研究者との連携、国際統合睡眠医科学研究機構やサイバニクス研究センターなどと連携し、学際性ある融合研究やオープンラボ機能を強化して、組織的な産学官連携による拠点形成を進めます。2020 年度は、「モビリティイノベーションの社会応用と未来社会工学研究 ～ヒューマンセントリックな未来都市と地方創生に向けた研究～」を中心に、産学協働によって素晴らしい成果が得られるよう取り組んで参ります。



山海嘉之センター長

センターのミッション

Society5.0 を実現する次世代自動車交通基盤

《社会課題解決》

移動の自由、時空間制約の解放
=安全・自由・スムーズに移動できる社会

交通事故ゼロ

渋滞解消

利便性

©トヨタ自動車

《経済成長》

新たな社会サービス創出
=オンデマンドを超える移動可能なサービス

新たな地域サービス

地域包括ケア

地域の存続

©トヨタ自動車

モビリティイノベーションの社会応用

